

カタクチイワシ卵稚仔出現状況 (2011. 8- 2)

香川県水産試験場 藤原 宗弘
TEL: 087-843-6511

調査方法

調査日: 8月17日 時間9:00~11:40 中潮

調査方法: 丸特ネットによる鉛直曳

調査定点: 播磨灘11定点+備讃瀬戸2定点

【カタクチ卵】 定点別出現数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	13点平均値
2009.8.21	0	0	0	0	2	38	0	17	0	13	0	0	0	21	6.4	6.5
2010.8.18	0	0	26	31	2	0	2	0	0	0	0	0	0	72	5.5	9.5
2011.8.17	0	0	0	4	0	10	0	0	0	0	0	0	0	-	1.3	1.1

【カタクチ稚仔】 定点別出現尾数

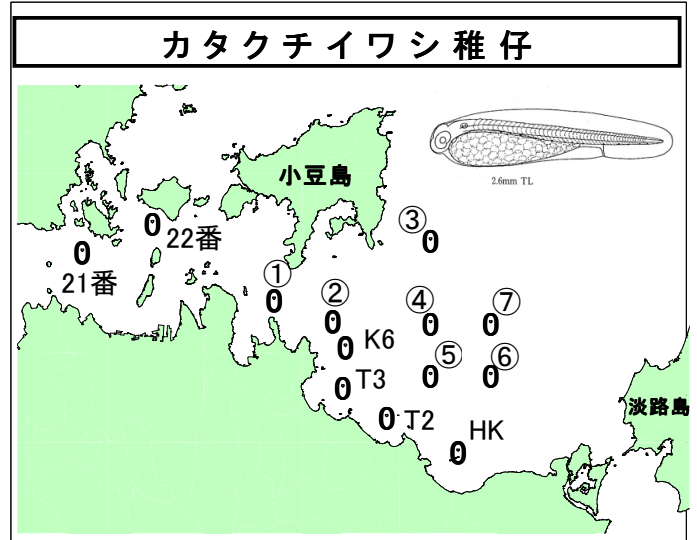
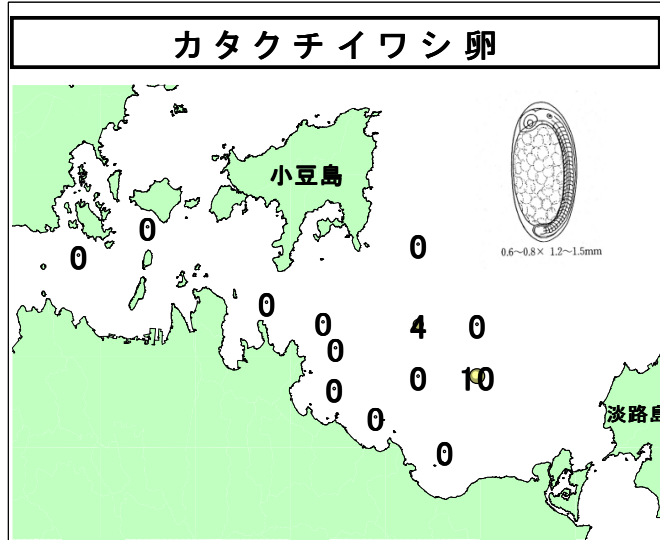
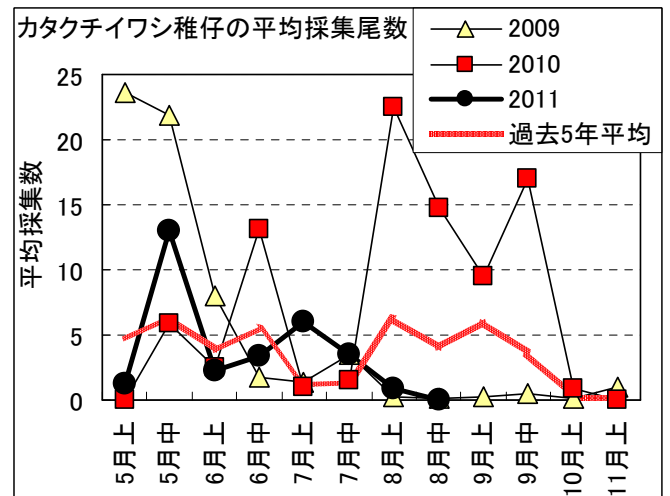
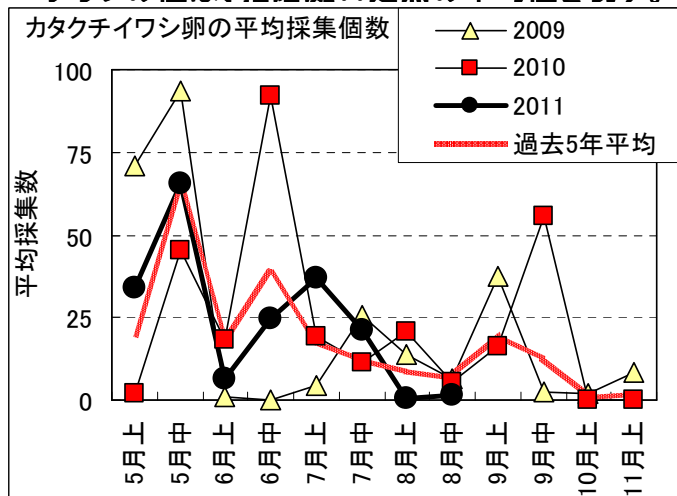
年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	13点平均値
2009.8.21	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0.2	0.1
2010.8.18	0	0	32	49	18	12	21	24	3	1	2	0	0	37	14.7	14.2
2011.8.17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0.0	0.0

* 表中の「-」は未測定を表す。

* 11点平均値: 播磨灘11定点の平均値を表す(備讃瀬戸を除く)。

* 13点平均値: 播磨灘11定点+備讃瀬戸2定点の平均値を表す。

* グラフの値は、播磨灘11定点の平均値を現す。



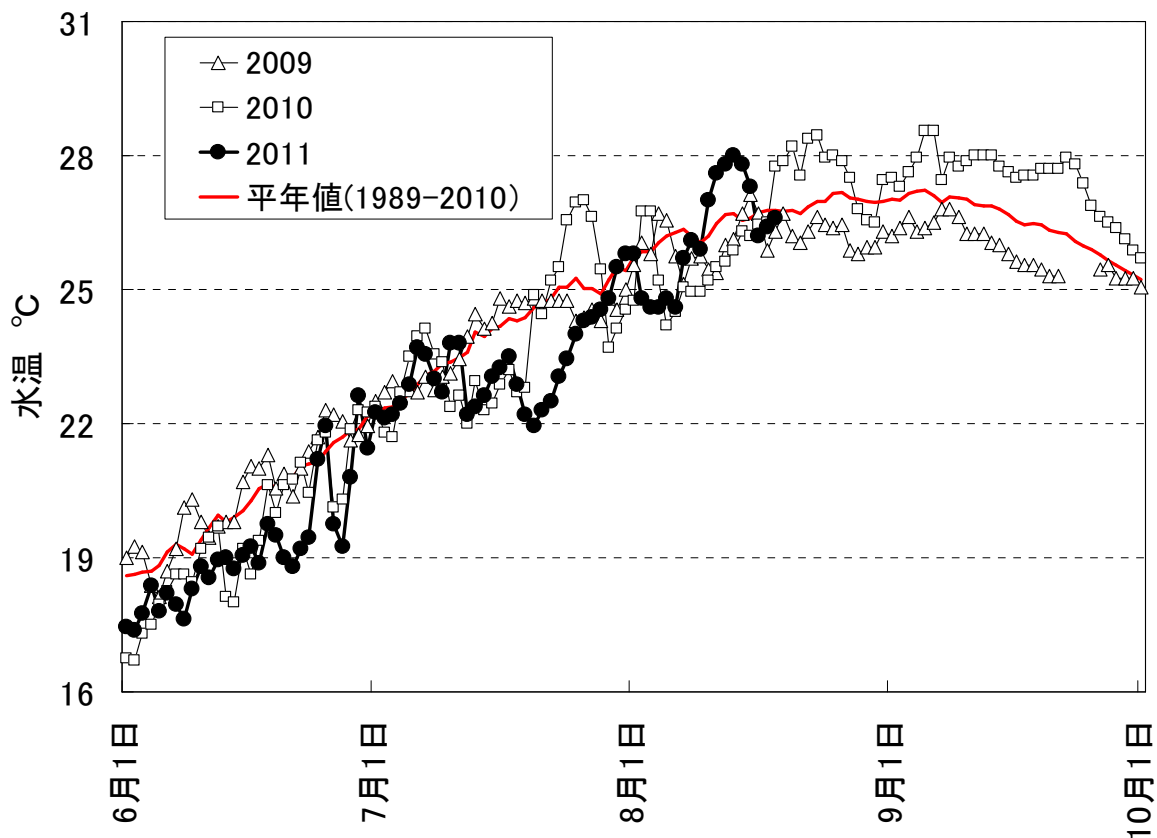
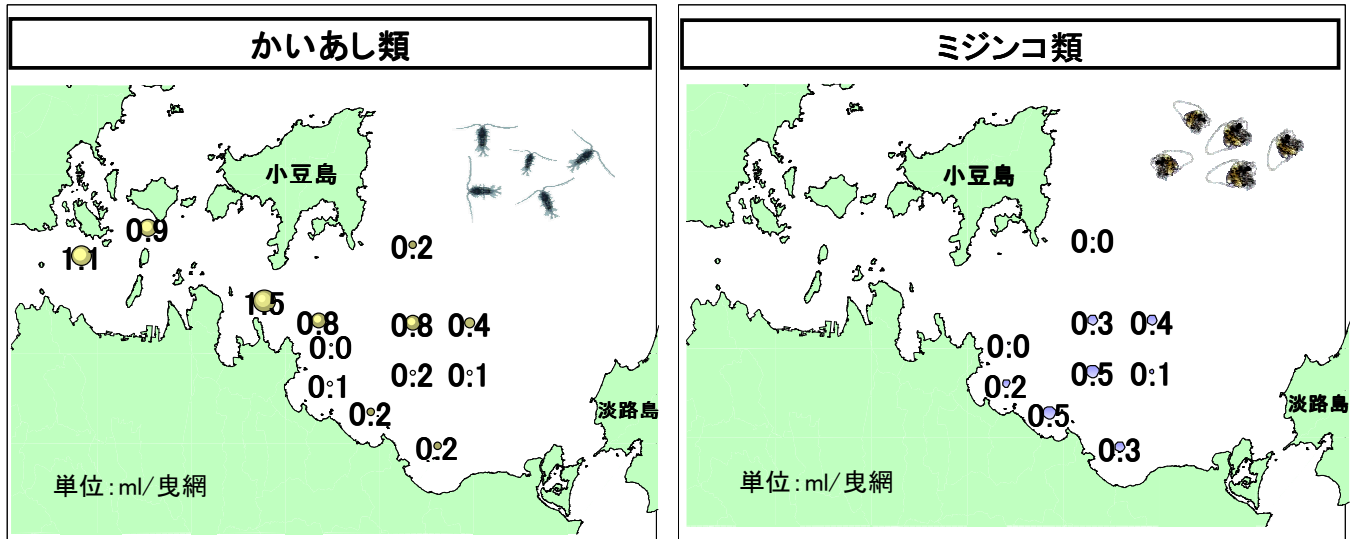
播磨灘11定点における卵の平均出現数は1.3個となり、昨年・平年同時期を下回った。卵はやや沖合で確認された。一方、今回の調査では、仔魚は確認されなかった。

引田沖に設置した水温ブイ(午前9時)によると、7月中旬以降は平年より低めに推移していたが、8月10日頃やや高くなったものの、ここ数日は平年並となった。

餌料生物として重要なかいあし類は、前回より大きく減少し、11点の平均は0.41mL/曳網と前回の30%程度であった。かいあし類と同じ動物プランクトンのミジンコ類が漁場付近で比較的多く見られた。

また、小型のクラゲ様の生物(ウリクラゲ、ウミタル、サルパ類)が、定点②、③、⑥、K6でかなり多く(ネット内容物の50~75%程度)確認された。

【参考】



※カタクチイワシ卵稚仔情報は、「水産試験場ホームページ」の「情報提供」の「カタクチイワシ卵稚仔速報」でも公開しています。

<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/>